

DIGITAL DELAY DD-500

取扱説明書

- 入力から出力までサンプリング周波数 96kHz、32bit の高精度演算による、高音質ディレイです。
- 見やすいディレイ・タイム表示や独立した [TAP/CTL] スイッチを装備した、ライブで使いやすい高機能ディレイです。
- SDE-3000 や DD-2 をモデリングした「VINTAGE DIGITAL」をはじめ「ANALOG」や「TAPE」などのモデリングを含む 12 種類のディレイ・モードを搭載しています。
- メモリー機能により、297 種類の設定を本体に記憶／呼び出しすることができます。パッチ切り替え時には、残響音を残しつつスムーズに切り替わる「キャリーオーバー」を実現しています。
- リアルタイムに録音／再生をしながら音を重ねる、「フレーズ・ループ」機能を搭載しています。ディレイと同時に使用することができます。
- USB ケーブルや MIDI ケーブルをつなぐことで、パソコンの DAW や外部 MIDI 機器と同期したり、音色の切り替えやパラメーターのコントロールをしたりすることができます。

準備する	2
電池を入れる	2
機器を接続する	2
電源を入れる	4
基本操作	5
ディレイを調節する	5
ディレイをオン／オフにする	6
バンク／パッチを切り替える	7
[TAP/CTL] スイッチでディレイのかけかたを変える	8
フレーズ・ループ演奏をする	9
パッチをエディットする	10
パッチを保存する	11
パラメーター一覧	12
PATCH	12
CONTROL	14
ASSIGN	15
SYSTEM	17
MIDI	17
MIDI PC MAP	18
便利な使いかた	19
ディレイ音を残すか、残さないかを設定する	19
[A]、[B]、[TAP/CTL] スイッチの機能を設定する	19

DAW や外部 MIDI 機器と同期する	20
接続例	20
送受信できる MIDI メッセージ	20
受信のみできる MIDI メッセージ	21
MIDI の流れ	21
外部ペダルに機能を割り当てる	22
工場出荷時の設定に戻す	24
外部 MIDI 機器にデータを送信する	24
トラブルシューティング	25
主な仕様	25
安全上のご注意	26
使用上のご注意	26

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.26））をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

準備する

電池を入れる

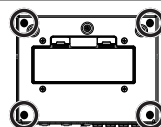
本体裏面にある電池ケースにアルカリ電池（単 3 形）4 本を入れてください。

- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- ※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」チラシと取扱説明書（P.26）に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
- ※ ACアダプターを使用する場合でも、電池を入れておけば、万一本機からACアダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。
- ※ 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前に行ってください。
- ※ 電池駆動のときは、電池が消耗してくると画面に「BATTERY LOW」と表示されます。新しい電池と交換してください。

ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。

ゴム足は図の位置に貼り付けます。



機器を接続する

- ※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。
- ※ ケーブルを抜き差しするときは、必ずアンプのボリュームを下げてください。

USB (←) 端子

USB 2.0 に対応した市販の USB ケーブルでパソコンに接続します。MIDI で DAW と同期することができます。



MIDI IN、OUT 端子

外部 MIDI 機器を接続します。MIDI で外部 MIDI 機器と同期することができます。

MIDI 機器



DC IN 端子

AC アダプター（PSA-100：別売）を接続する端子です。AC アダプターを使用すれば、電池切れの心配をせずに長時間の演奏ができます。

※ AC アダプターは、必ず指定のもの（PSA-100：別売）を、AC100V の電源で使用してください。

※ 電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。

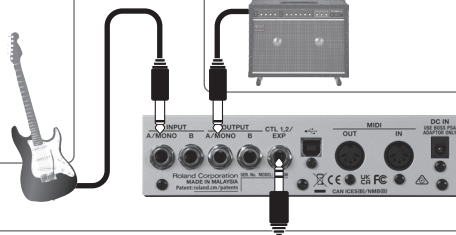


INPUT A/MONO、B 端子

エレクトリック・ギターをはじめ、他の楽器やエフェクターを接続する端子です。

※ ステレオ出力の機器を接続するときは INPUT A/MONO 端子と B 端子に、モノで使用するときは INPUT A/MONO 端子のみに差ししてください。

※ INPUT A/MONO 端子は、電源スイッチも兼ねています。接続プラグを INPUT A/MONO 端子に差し込むと電源がオンになり、抜くとオフになります。

**OUTPUT A/MONO、B 端子**

アンプやモニター・スピーカーに接続する端子です。モノで使用するときは OUTPUT A/MONO 端子のみに差しください。

※ OUTPUT A/MONO、B 端子にヘッドホンを接続しないでください。ヘッドホンを破壊する恐れがあります。

CTL 1,2/EXP 端子

CTL 1,2/EXP 端子にフットスイッチ（別売：FS-5U、FS-5L、FS-6、FS-7）やエクスプレッション・ペダル（別売：Roland EV-5 など）をつなぐと、さまざまなパラメーターをコントロールすることができます（P.22）。

FS-5U（または FS-5L）を 1 台つなぐ場合

標準プラグ ↔ 標準プラグ



CTL 1



FS-5L をつなぐときは、MODE の設定を「MOMENT」にしてください（P.22）。

ポラリティー・スイッチ

**FS-5U（または FS-5L）を 2 台つなぐ場合**

ステレオ標準プラグ ↔ 標準プラグ×2

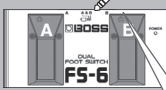


CTL 2

CTL 1

FS-6 をつなぐ場合

ステレオ標準プラグ ↔ ステレオ標準プラグ

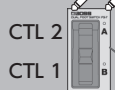


CTL 2

CTL 1

FS-7 をつなぐ場合

ステレオ標準プラグ ↔ 標準プラグ×2



CTL 2

CTL 1

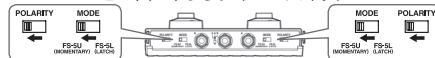
EV-5 をつなぐ場合

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの（別売：EV-5）をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

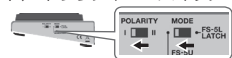


EXP

モード／ポラリティー・スイッチ



モード／ポラリティー・スイッチ



電源を入れる

※ 正しく接続したら (P.2)、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

1. INPUT A/MONO 端子にプラグを差し込みます。

DD-500 の電源が入ります。

2. ギター・アンプなどの電源を入れます。

※ 本機は回路保護のため、電源をオンにしてからしばらくは動作しません。

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

※ 電源を切るときは、手順を逆にしてください。

基本操作

ディレイを調節する

[MODE] つまみ

ディレイの種類を選びます。

STANDARD	クリアなデジタル・ディレイ。
TERA ECHO	リバーブでもディレイでもない、広がりと動きのあるエコー・サウンド。
SLOW ATTACK	アタックを抑えたボリューム奏法のようなディレイ。
FILTER	スウィープするフィルターを加えたディレイ。
SHIMMER	音程を変えた音を混ぜたディレイ。
SFX	特殊な効果のディレイ。
REVERSE	逆再生するディレイ。
PATTERN	16 個の、独立して設定できるディレイ。
DUAL	2 つのディレイを直列または並列に接続したディレイ。
VINTAGE DIGITAL	初期のデジタル・ディレイをモデリングした温かみのあるディレイ。
TAPE	テープ・エコーに特有の、ゆらぎのあるサウンド。
ANALOG	マイルドなアナログ・ディレイ。

[TONE] つまみ

エフェクト音の音質を調節します。

中央位置でフラット、右に回すと高域をブーストし、左に回すと高域をカットします。

[TIME/VALUE] つまみ

ディレイ・タイムを設定します。押しながら回すと、値を大きく変化させることができます。

[FEEDBACK] つまみ

フィードバック量（繰り返し量）を調節します。

※ 入力音やつまみの位置によっては発振することがあります。

[E. LEVEL] つまみ

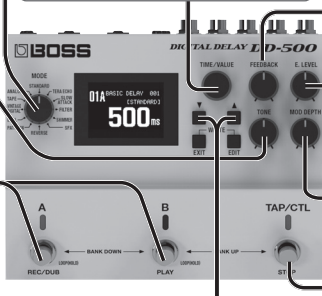
エフェクト音の音量を調節します。

[A] [B] スイッチ

バンク/パッチを切り替えます (P.7)。

[MOD DEPTH] つまみ

エフェクト音を揺らす深さを調節します。



[▼] [▲] ボタン

画面が切り替わります。

ディレイ・タイム

01A Init Patch01-001
[STANDARD]
340ms

[▼] ↓ [▲] ↑

01A: Init Patch01-001
MODE: STANDARD
TIME: 340ms
FEEDBACK: 50
EFFECT LEVEL: 50
TONE: 0
MOD DEPTH: 0

トップ画面

ディレイ・タイム
01A Init Patch01-001
[STANDARD]
340ms

[▲] ↑ [▼] ↓

[TIME/VALUE] つまみを回すと、値を変更できます。

テンポ

01A Init Patch01-001
[STANDARD] NOTE
J=120.0

[▼] ↓ [▲] ↑

01A Init Patch01-001
[STANDARD] NOTE
J=120.0

ディレイ・タイム
テンポに対する音符の長さ

[TAP/CTL] スイッチ

演奏曲のテンポに合わせてスイッチを押すと（タップ入力）、演奏曲とタイミングの合ったディレイ・タイムを簡単に設定することができます。また、別の機能を割り当てることもできます (P.8)。

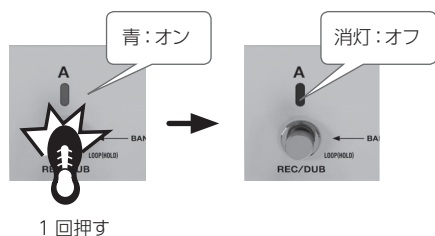
ディレイをオン／オフにする

パッチ A のディレイ

[A] スイッチを押すたびに、オン（青点灯）／オフ（消灯）が切り替わります。

パッチ B のディレイ

[B] スイッチを押すたびに、オン（青点灯）／オフ（消灯）が切り替わります。

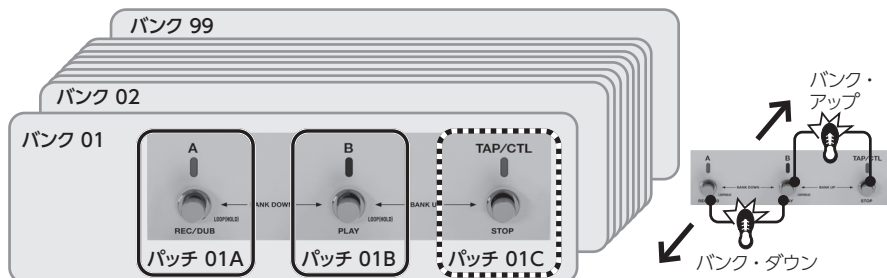


メモ

パッチ A、B を同時に使えるように設定することもできます (P.19)。

パッチ／バンクとは

MODE、FEEDBACK、EFFECT LEVEL、TONE、MOD DEPTH、TIME などの設定をひとまとめにしたものを「パッチ」と呼びます。パッチは [A]、[B]、[TAP/CTL] スイッチで選ぶことができます (P.19)。パッチ A、B、C をまとめて「バンク」と呼びます。

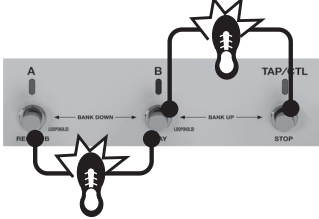


※ パッチ C を [TAP/CTL] スイッチで切り替える場合は、「[A]、[B]、[TAP/CTL] スイッチの機能を設定する」(P.19) をご覧ください。

バンク／パッチを切り替える

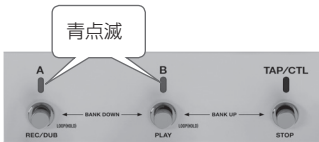
1. バンク (01 ～ 99) を切り替えます。

バンク・アップ ([B] と [TAP/CTL] スイッチを同時に押す)



バンク・ダウン ([A] と [B] スイッチを同時に押す)

2. 点滅しているスイッチ ([A] または [B]) を押して、パッチを切り替えます。



メモ

[EXIT] ボタンを押しながら [TIME/VALUE] つまみを回すと、別のパッチを呼び出すことができます。



メモ

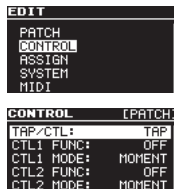
パッチ／バンクの切り替えには、以下の機能が使えます。

- 「[A]、[B]、[TAP/CTL] スイッチの機能を設定する」(P.19)
- 「ディレイ音を残すか、残さないかを設定する」(P.19)

[TAP/CTL] スイッチでディレイのかけかたを変える

初期設定では [TAP/CTL] スイッチでタップ入力ができますが、設定を変えるとディレイのかけかたを変えることができます。

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「CONTROL」を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. [▲] [▼] ボタンで「TAP/CTL」を選び、[TIME/VALUE] つまみで機能を割り当てます。



値		説明
TAP		タップ入力ができます。
CTL	HOLD	押している間、ディレイ音が繰り返されます。
	WARP	ディレイ音のフィードバック量と音量を同時にコントロールし、幻想的なディレイを作り出すことができます。
	TWIST	アグレッシブな回転感が得られる新しいディレイです。
	MOMENT	押している間だけディレイ音を出力します。
	ROLL 1/2	押している間だけディレイ・タイムが設定値の 1/2 になり、音が鳴り続けます。
	ROLL 1/4	押している間だけディレイ・タイムが設定値の 1/4 になり、音が鳴り続けます。
	ROLL 1/8	押している間だけディレイ・タイムが設定値の 1/8 になり、音が鳴り続けます。
	FADE IN	ディレイ音をフェード・イン／アウトさせます。
ASSIGN		ASSIGN1 ～ 8 (P.15) の設定を使うときに選びます。

4. [EXIT] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

フレーズ・ループ演奏をする

スイッチを操作することで、リアルタイムに録音／再生をしながら音を重ねるパフォーマンスができます。ディレイをかけながら音を重ねることができます。

フレーズ・ループ・モードに入る

[A]、[B] または [C] スイッチ (FSW MODE (P.19) が「A/B/C」に設定されているとき) を 2 秒以上押すと、フレーズ・ループがスタンバイ状態になり、[A] が赤く点滅します。



録音時間 (秒)

周波数	48kHz	96kHz
モノ	120	60
ステレオ	60	

※ サンプリング周波数、モノ/ステレオは SYSTEM: LOOP MODE (P.17) で設定します。

録音
演奏を録音します。
[A] が赤く点灯します。



ループ再生
[B] が赤く点灯します。



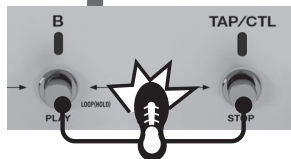
※ [▼]/[▲] ボタンで、フレーズの音量 (LOOP LEVEL) を調節することができます。

クリア
フレーズを消去します。
[A] が赤く点滅します。



※ [TAP/CTL] スイッチを 2 回 (2 回目を長押し) 押してもクリアできます。

オーバーダビング
ループ再生しながら演奏を重ねて録音します。
[A] と [B] が赤く点灯します。



停止
再生が停止します。
[B] が赤く点滅します。



終了

[TAP/CTL] スイッチを 2 秒以上押すと、フレーズ・ループを終了します。

※ フレーズ・ループを終了すると、録音内容は消去されます。

※ 録音内容は保存されません。

※ 再生中に [B] スイッチを押すと、ループの先頭に戻って再生されます。

パッチをエディットする

パッチに関するさまざまなパラメーターをエディットすることができます。

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「PATCH」を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、[TIME/VALUE] つまみで値を変えます。
4. [EXIT] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

※ エディットしたパッチは、「パッチを保存する」(P.11) の手順で保存してください。

EDIT	
PATCH	
CONTROL	
ASSIGN	
SYSTEM	
MIDI	

PATCH	[STANDARD]
MODE:	STANDARD
TIME:	340ms
BPM:	♩=120.0
NOTE:	
FEEDBACK:	50

[EDIT] の基本操作

01A Init Patch01-001
[STANDARD]
340ms

[EXIT] ボタン

[EDIT] ボタン

EDIT
PATCH
CONTROL
ASSIGN
SYSTEM
MIDI

[EDIT] ボタン

[▲] [▼] ボタンで
カーソル移動

[▲] [▼] ボタンでカーソル移動
[TIME/VALUE] つまみで値を変更

PATCH	[STANDARD]
MODE:	STANDARD
TIME:	340ms
BPM:	♩=120.0
NOTE:	
FEEDBACK:	50

ASSIGN	
ASGN1 SW:	OFF
ASGN2 SW:	OFF
ASGN3 SW:	OFF
ASGN4 SW:	OFF
ASGN5 SW:	OFF

CONTROL	[PATCH]
TAP/CTL:	TAP
CTL1 FUNC:	OFF
CTL1 MODE:	MOMENT
CTL2 FUNC:	OFF
CTL2 MODE:	MOMENT

SYSTEM	
CONTRAST:	9
OUTPUT:	STEREO
BANK MODE:	WAIT
BANK EXTENT MIN:	01
BANK EXTENT MAX:	99

MIDI	
Rx CHANNEL:	Ch.1
Tx CHANNEL:	Rx
PC IN:	ON
PC OUT:	ON
BANK SEL OUT:	MSB

MIDI PC MAP	
BANK-PC#	PATCH#
1:001	01A
1:002	01B
1:003	01C
1:004	02A

パッチを保存する

設定したパッチを保存することができます。

1. [EXIT] ボタンと [EDIT] ボタンを同時に押します。
2. [TIME/VALUE] つまみで、記憶先の番号を選びます。

バンク	[A] スイッチ	[B] スイッチ	[TAP/CTL] スイッチ
バンク 01	01A	01B	01C
バンク 02	02A	02B	02C
:	:	:	:
バンク 99	99A	99B	99C

```
WRITE
[EDIT]:EXECUTE
NAME:
Init Patch01-001
WRITE TO
01A:Init Patch01-001
```

※ パッチ C を選べるのは、FSW MODE (P.19) が「A/B/C」に設定されているときのみです。

3. [▲] ボタンを押して、パッチ名を選びます。
4. パッチ名を変更します。

[▲] [▼] ボタン	カーソルを移動
[TIME/VALUE] つまみ	文字を変更

```
WRITE
[EDIT]:EXECUTE
NAME:
Init Patch01-001
WRITE TO
01A:Init Patch01-001
```

5. [EDIT] ボタンを押して、パッチを保存します。
キャンセルするときは [EXIT] ボタンを押します。

カーソルを「WRITE TO」に合わせて [TIME/VALUE] つまみを回すと、パッチを初期化 (INIT) したり、パッチを入れ替えたり (EXCHANGE) することができます。

```
INITIALIZE
[EDIT]:EXECUTE
INIT
01A:Init Patch01-001
```

```
EXCHANGE
[EDIT]:EXECUTE
01A:Init Patch01-001
EXCHANGE
01A:Init Patch01-001
```

パラメーター一覧

PATCH

パラメーター	説明
MODE	ディレイの種類を選びます (P.5)。[MODE] つまみと同様。
TIME	ディレイ・タイムを設定します。[TIME/VALUE] つまみと同様。
BPM	テンポを設定します。
NOTE	ディレイ・タイムを設定します。BPM に対する音符の長さで指定します。
FEEDBACK	フィードバック量 (繰り返し量) を調節します。値を大きくすると、ディレイの繰り返し回数が多くなります。[FEEDBACK] つまみと同様。
TONE	エフェクト音の音質を調節します。[TONE] つまみと同様。
EFFECT LEVEL	エフェクト音の音量を調節します。[E. LEVEL] つまみと同様。
MOD DEPTH	エフェクト音を揺らす深さを調節します。[MOD DEPTH] つまみと同様。
MOD RATE	エフェクト音を揺らす速さを調節します。
CARRYOVER	音色を切り替えたときや、ディレイをオフにしたときにエフェクト音を残すか、残さないかを設定します (P.19)。
DIRECT LEVEL	エフェクトがオンのとき、ダイレクト音の音量を調節します。
EQ SW	EQ のオン/オフを設定します。
EQ LO.CUT	設定された周波数より低い周波数成分をカットします。 [FLAT] にすると、ロー・カット・フィルタは動きません。
EQ LO.GAIN	低音域の音質を調節します。
EQ LM.GAIN	中低域の音質を調節します。
EQ LM.FREQ	LM.GAIN で調節される中心周波数を設定します。
EQ LM.Q	LM.FREQ で設定された周波数を中心に EQ のかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。
EQ HM.GAIN	中高域の音質を調節します。
EQ HM.FREQ	HM.GAIN で調節される中心周波数を設定します。
EQ HM.Q	HM.FREQ で設定された周波数を中心に EQ のかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。
EQ HI.GAIN	高音域の音質を調節します。
EQ HI.CUT	設定された周波数より高い周波数成分をカットします。 [FLAT] にすると、ハイ・カット・フィルタは動きません。
EQ LEVEL	イコライザー全体の音量を調節します。
LO DAMP	エフェクト音が繰り返されるたびに低域を落とす量を調節します。
LO DAMP F	LO DAMP で落とす低域の周波数を設定します。
HI DAMP	エフェクト音が繰り返されるたびに高域を落とす量を調節します。
HI DAMP F	HI DAMP で落とす高域の周波数を設定します。
DUCK SENS	入力に応じて自動音量調整する感度を調節します。値が大きくなるほど小さい音量に反応します。
DUCK PRE DEPTH	入力音が大きいときに、ディレイに「入力される」音量を自動で小さくします。100 になるほど小さくする効果が深くなります。
DUCK POST DEPTH	入力音が大きいときに、ディレイから「出力される」音量を自動で小さくします。100 になるほど小さくする効果が深くなります。
EFFECT PAN	エフェクト音の定位を調節します。
DIRECT PAN	ダイレクト音の定位を調節します。

MODE : TERA ECHO

パラメーター	説明
RESONANCE	エフェクト音のクセの強さを調節します。

MODE : SLOW ATTACK

パラメーター	説明
SENS	感度を調節します。 感度を低くすると、弱いピッキングではスロー・アタックの効果はかからず、強いピッキングだけにスロー・ギアの効果が見れます。感度を高くすると、ピッキングの強弱にかかわらずスロー・アタックの効果が見れます。
RISE TIME	ピッキングをしてから音量が最大になるまでの時間を調節します。

MODE : FILTER

パラメーター	説明
LFO TYPE	フィルターの動くカーブを選びます。
LFO RATE	フィルターの動く周期を調節します。
LFO DEPTH	フィルターの動く範囲を調節します。
TYPE	フィルターの種類 (LPF / BPF / HPF) を選びます。
CUTOFF	フィルターの効く周波数を調節します。値が大きくなるほど周波数が高くなります。
RESONANCE	フィルターの効きを調節します。値が大きくなるほどクセが強くなります。
FILTER POS	フィルターをディレイの前に置くか後に置くかを設定します。

MODE : SHIMMER

パラメーター	説明
PITCH SHIFT	ピッチ・シフト量（音の高さが変化する量）を、半音単位で調節します。
PITCH FINE	音程の変化量を微調節します。Fine の変化量 100 が PITCH SHIFT の変化量 1 に相当します。
PITCH BAL	ディレイに入力されるピッチシフト音とダイレクト音のバランスを調節します。
DIRECT FB	ダイレクト音にかかるディレイのフィードバック量です。[FEEDBACK] つまみで設定されるフィードバックに対する割合 (%) で設定します。

MODE : SFX

パラメーター	説明
BIT DEPTH	ビット長を設定します。
SAMPLE RATE	サンプリング・レートを設定します。
LoFi BAL	原音とエフェクト音の音量バランスを設定します。
TR WAVE	音量変化のカーブを調節します。値を大きくするほど変化が急峻になります。
TR RATE	音量変化の周期を調節します。
TR DEPTH	音量変化の深さを調節します。

MODE : PATTERN

パラメーター	説明
PATTERN	ディレイのパターンを選びます。 PAT1 ~ PAT10 のプリセット・パターンと、自由に設定できる USER があります。
DELAY1 ~ 16 TIME	PATTERN を「USER」にしたとき、Delay1 ~ 16 のディレイ・タイムに対する割合を調節します。
DELAY1 ~ 16 LEVEL	PATTERN を「USER」にしたとき、Delay1 ~ 16 の音量を調節します。
DELAY1 ~ 16 PAN	PATTERN を「USER」にしたとき、Delay1 ~ 16 の定位を調節します。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

パラメーター一覧

MODE : DUAL

パラメーター	説明
DUAL MODE	2つのディレイを直列にするか、並列にするかを選びます。
DUAL TYPE	ディレイの種類を選びます。
DUAL LINK	2つ目のディレイのタイムとフィードバックの値を1つ目のディレイの設定にリンクさせます。
D2 TIME	2つ目のディレイのディレイ・タイムを設定します。[TIME/VALUE]つまみと同様。
D2 FEEDBACK	2つ目のディレイのフィードバック量（繰り返し量）を調節します。値を大きくすると、ディレイの繰り返し回数が多くなります。[FEEDBACK]つまみと同様。
D2 E. LEVEL	2つ目のディレイのエフェクト音の音量を調節します。[E. LEVEL]つまみと同様。

MODE : VINTAGE DIGITAL

パラメーター	説明
TYPE	モデリングするタイプを選びます。
FILTER	TYPEを「SDE-3000」にしたとき、高域をカットするフィルターのオン／オフを設定します。
TIME _{x2}	TYPEを「SDE-2000」や「SDE-3000」にしたとき、サンプリング周波数を半分にしてディレイ・タイムを2倍にするかどうかを設定します。
DELAY PHASE	TYPEを「SDE-2000」や「SDE-3000」にしたとき、ディレイ音の位相を設定します。INVを選ぶと位相が反転します。
FEEDBACK PHASE	TYPEを「SDE-2000」や「SDE-3000」にしたとき、ディレイ音のフィードバックの位相を設定します。INVを選ぶと位相が反転します。

MODE : TAPE

パラメーター	説明
TYPE	モデリングするタイプを選びます。
TAPE HEAD	TYPEを「RE-201」にしたとき、使用する再生ヘッドを選択します。再生ヘッド2／3は再生ヘッド1の2倍／3倍のディレイタイムになります。

MODE : ANALOG

パラメーター	説明
STAGE	BBDの段数を選びます。段数に比例して、ディレイ・タイムが長くなります。

CONTROL

パラメーター	説明
TAP/CTL	[TAP/CTL]スイッチをTAPとして使うかCTLとして使うかを設定します。
CTL FUNC	[TAP/CTL]スイッチをCTLとして使うとき、押したときの動作を設定します。
CTL 1/2 PREF	CTL 1/2スイッチをパッチごとに異なった設定するか、すべてのパッチで同じ設定を共有するかを設定します。
CTL 1/2 FUNC	CTL 1/2スイッチを押したときの動作を設定します。
CTL 1/2 MODE	CTL 1/2スイッチを押している間だけオンにするか、押すたびにオン／オフを切り替えるかを設定します。
EXP PREF	EXPペダルをパッチごとに異なった設定するか、すべてのパッチで同じ設定を共有するかを設定します。
EXP FUNC	EXPペダルを押したときの動作を設定します。

ASSIGN

ASSIGN INPUT SENS

説明

SOURCE に INPUT を選んだときの入力感度を調節します。

ASSIGN 1 ～ 8

パラメーター	設定値	説明
SW	OFF、ON	ASSIGN1 ～ 8 のオン/オフを設定します。
SOURCE	コントローラー（ソース）	を設定します。
	TAP/CTL	[TAP/CTL] スイッチ
	EXP PDL (EXP PEDAL)	CTL 1,2/EXP 端子に接続した外部のエクスペッション・ペダル（別売：EV-5 など）
	CTL1、2 PDL	CTL 1,2/EXP 端子に接続した外部のフットスイッチ
	INT PDL	インターナル・ペダル 設定したトリガー（TRIGGER）をきっかけに、仮想エクスペッション・ペダルが動作を開始し、「TARGET」で設定したパラメーターを変化させます。 インターナル・ペダルで設定できるパラメーターの詳細については、「TIME」、「CURVE」をご覧ください（P.16）。 
	WAVE PDL	ウェーブ・ペダル 「TARGET」で設定したパラメーターを、仮想エクスペッション・ペダルによって一定の周期で変化させます。 
	INPUT (INPUT LEVEL)	入力されるレベルに応じて、ターゲットに設定されたパラメーターを変化させます。 ※ 入力感度を調整したいときは、SENS (INPUT SENS) を設定します。
	CC#1 ～ 31、 CC#64 ～ 95	外部 MIDI 機器からのコントローラー・ナンバー
MODE (SOURCE MODE)	コントローラーの動作を設定します。	
	MOMENT	通常はオフ（最小値）になり、操作している間だけオン（最大値）になります。 ※ インターナル・ペダルまたはウェーブ・ペダルを使用する場合は、「MOMENT」に設定してください。
	TOGGLE	操作をするたびにオフ（最小値）／オン（最大値）が切り替わります。
TRG	変化させるパラメーターを選びます。	
MIN (Target Min)	パラメーターの可変範囲を設定します。設定値は、TARGET で割り当てられたパラメーターによって変化します。	
MAX (Target Max)		

パラメーター一覧

パラメーター	設定値	説明
ACT.LO (ACT RANGE LO)	ソースの操作範囲の中でターゲット・パラメーターをコントロールする範囲を設定します。	
ACT.HI (ACT RANGE HI)	設定した範囲内でターゲット・パラメーターをコントロールします。通常は ACT.LO を「0」に、ACT.HI を「127」にしてください。	
WAV.RT (WAVE RATE) *1	0 ~ 100、BPM ♪	ウェーブ・ペダルの 1 周期の時間を調節します。 ※ テンポによって設定される時間が設定可能な範囲より長い場合は、その時間の 1/2 または 1/4 の時間に同期するようになります。
WAV.FM (WAVE FORM) *1	SAW、TRI、SIN	ウェーブ・ペダルの変化のしかたを次の中から設定します。 
TRIGGER (INT PEDAL TRIGGER) *2	インターナル・ペダルが動作を開始するきっかけを設定します。	
	PAT CNG (PATCH CHANGE)	パッチを切り替えたときに動作します。
	EXP LO	CTL 1,2/EXP 端子に接続した外部のエクスペッション・ペダルを最小にしたときに動作します。
	EXP MID	CTL 1,2/EXP 端子に接続した外部のエクスペッション・ペダルを踏み込み、中間値を通過したときに動作します。
	EXP HI	CTL 1,2/EXP 端子に接続した外部のエクスペッション・ペダルを最大にしたときに動作します。
	CTL1、2 PDL	CTL 1,2/EXP 端子に接続した外部のフットスイッチを操作したときに動作します。
TIME (INT PEDAL TIME) *2	CC#1 ~ #31 CC#64 ~ #95	
	コントロール・チェンジを受信したときに動作します。	
CURVE (INT PEDAL CURVE) *2	LINEAR、 SLOW (SLOW RISE)、 FAST (FAST RISE)	インターナル・ペダルの変化のしかたを次の中から設定します。 

*1 SOURCE=WAVE PDL のみ

*2 SOURCE=INT PDL のみ

※ FSW MODE (P.19) が「A/B SIMUL」に設定されているときは、ディスプレイに表示されているパッチの ASSIGN のみが有効です。

SYSTEM

パラメーター	説明
CONTRAST	画面のコントラストを調節します。
OUTPUT	出力のしかたを選びます。
BANK MODE	バンクを変えたときのパッチの切り替えタイミングを設定します。
BANK EXTENT MIN	選択可能なバンクの下限値を設定します。
BANK EXTENT MAX	選択可能なバンクの上限値を設定します。
KNOB LOCK	つまみの操作を無効にするかどうかを設定します。
KNOB MODE	つまみの動きを設定します。
BYPASS	バイパス音の出力を設定します。
PEDAL ACT	[A] [B] [TAP/CTL] スイッチを押したときに動作するか、離れたときに動作するかを設定します。
FSW HOLD TIME	[A] [B] [TAP/CTL] スイッチを何秒以上押すと長押しと判断するかを設定します。
FSW MODE	フットスイッチの使いかたを設定します (P.19)。
TEMPO HOLD	パッチを切り替えたとき、テンポ (BPM) を変えるか、維持するかを設定します。テンポを維持することによりディレイ・タイムも維持することができます。ただし、切り替えたパッチの NOTE の設定 (♩や♪など) が異なる場合はディレイ・タイムも変わります。
USB MODE	USB の動作モードを設定します (P.21)。
LOOP MODE	サンプリング周波数を設定します。
LOOP LEVEL	録音したフレーズの音量を設定します。

MIDI

パラメーター	説明	
Rx CHANNEL	MIDI 受信チャンネルを設定します。	
Tx CHANNEL	MIDI 送信チャンネルを設定します。	
PC IN	プログラム・チェンジを受信するか、しないかを設定します。	
PC OUT	プログラム・チェンジを送信するか、しないかを設定します。	
BANK SEL OUT	プログラム・チェンジと同時に送信するバンクセレクト・メッセージを設定します。 MSB を選ぶと MSB (CC#0) だけが、M+L を選ぶと MSB と LSB (CC#32) が送信されます。	
CC IN	コントロール・チェンジを受信するか、しないかを設定します。	
CC OUT	コントロール・チェンジを送信するか、しないかを設定します。	
TIME CONTROL	[TIME/VALUE] つまみの操作を送受信するかしないかを設定します。	
A SW CC	[A] スイッチ	スイッチやつまみに対応するコントローラー・ナンバーを設定します。
B SW CC	[B] スイッチ	
TAP/CTL SW CC	[TAP/CTL] スイッチ	
FEEDBACK CC	[FEEDBACK] つまみ	
E. LEVEL CC	[E. LEVEL] つまみ	
TONE CC	[TONE] つまみ	
MOD DEPTH CC	[MOD DEPTH] つまみ	
CTL1 CC	外部 CTL1 スイッチ	
CTL2 CC	外部 CTL2 スイッチ	
EXP CC	外部 EXP ペダル	
EFFECT ON/OFF	ディレイ・オン、バイパスを切り替えるコントローラー・ナンバーを設定します。	

パラメーター一覧

パラメーター	説明
LOOP ON/OFF	フレーズ・ループ機能をオン/オフするコントローラー・ナンバーを設定します。
LOOP REC/DUB	フレーズ・ループ機能で、録音やオーバーダビングをするコントローラー・ナンバーを設定します。
LOOP PLAY	フレーズ・ループ機能で、ループ再生をするコントローラー・ナンバーを設定します。
LOOP STOP	フレーズ・ループ機能で、停止するコントローラー・ナンバーを設定します。
LOOP CLEAR	フレーズ・ループ機能で、フレーズをクリアするコントローラー・ナンバーを設定します。
SYNC	どの入力テンポ・クロックに同期させるかを設定します。
REALTIME SRC	MIDI OUT 端子や USB 端子に出力するリアルタイム・メッセージのソースを設定します。
MIDI IN->OUT	MIDI IN 端子から入力した MIDI メッセージを、どの端子に出力するかを設定します。
USB IN->OUT	USB 端子から入力した MIDI メッセージを、どの端子に出力するかを設定します。
DEVICE ID	システム・エクスクルーシブ・メッセージを送受信するときに使用するデバイス ID を設定します。

MIDI PC MAP

パラメーター	説明
BNK-PC#	パッチ番号に対応したプログラム・ナンバーを設定します。

便利な使いかた

ディレイ音を残すか、残さないかを設定する

音色を切り替えたときや、ディレイをオフにしたときにエフェクト音を残すか (ON)、残さないか (OFF) を設定します。

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「PATCH」を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. [▲] [▼] ボタンで「CARRYOVER」を選び、[TIME/VALUE] つまみで ON / OFF を選びます。
4. [EXIT] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

※ FSW MODE (P.19) が「A/B SIMUL」に設定されているときは、CARRYOVER を ON にしてもエフェクト音は残りません。



[A]、[B]、[TAP/CTL] スイッチの機能を設定する

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「SYSTEM」を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. [▲] [▼] ボタンで「FSW MODE」を選び、[TIME/VALUE] つまみでモードを設定します。



モード	説明
NORMAL	[A]、[B] スイッチでパッチ A、パッチ B の切り替え、[TAP/CTL] スイッチでタップ入力ができます。 ※ [TAP/CTL] スイッチを CTL として使う場合は「TAP/CTL FUNC」を「CTL」に設定します (P.8)。
A/B/C	[TAP/CTL] スイッチでパッチ C を呼び出すことができます。 ※ このとき [TAP/CTL] スイッチで、TAP や CTL の機能は使えません。
A/B SIMUL	パッチ A と B を同時に使うことができます。点灯していない [A] または [B] スイッチを押して、どちらも点灯させます。
SW DN/UP	[A] スイッチでディレイのオンとオフを切り替え、[B] スイッチと [TAP/CTL] スイッチでパッチを切り替えます。

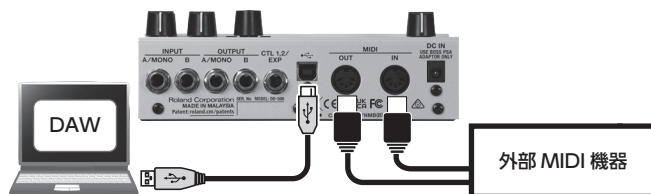
4. [EXIT] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

DAW や外部 MIDI 機器と同期する

MIDI 信号を送受信することで、パソコンや外部 MIDI 機器と同期演奏することができます。

たとえば、外部 MIDI 機器や DAW から DD-500 のパッチを切り替えたり、テンポを合わせたりすることができます。

接続例



送受信できる MIDI メッセージ

パッチ切り替え

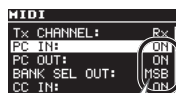
バンク・セレクト (CC#0、#32) とプログラム・チェンジ

同期情報

テンポ・クロック (F8)

パッチ情報

システム・エクススクレーシブ・メッセージ



ON である
こと

その他のメッセージ

スイッチ、つまみ	MIDI メッセージ	値	補足
[A] スイッチ	コントローラー・ナンバー 82	0、127	• 押したとき「127」、離したとき「0」を送信 • パッチが切り替わったときにはプログラム・チェンジを送信
[B] スイッチ	コントローラー・ナンバー 83		
[TAP/CTL] スイッチ	コントローラー・ナンバー 84	0 ~ 127	押したとき「127」、離したとき「0」を送信
EXP ペダル	コントローラー・ナンバー 16		
CTL 1 スイッチ	コントローラー・ナンバー 80	0、127	押したとき「127」、離したとき「0」を送信
CTL 2 スイッチ	コントローラー・ナンバー 81		
[FEEDBACK] つまみ	コントローラー・ナンバー 17	0 ~ 127	
[TONE] つまみ	コントローラー・ナンバー 19		
[E. LEVEL] つまみ	コントローラー・ナンバー 18		
[MOD DEPTH] つまみ	コントローラー・ナンバー 20		
[TIME/VALUE] つまみ	ピッチ・ベンド	-8192 ~ +8191	• 現在設定値からの相対設定 • MIDI TIME Control が ON のとき：送信、受信

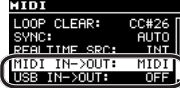
受信のみできる MIDI メッセージ

状態	MIDI メッセージ	値	補足
ディレイ・オン、バイパス	コントローラー・ナンバー 21	ON、OFF	ON = ディレイ・オン、OFF = バイパス
フレーズ・ループ	コントローラー・ナンバー 22		フレーズ・ループ機能
録音、オーバーダビング	コントローラー・ナンバー 23		
ループ再生	コントローラー・ナンバー 24		
停止	コントローラー・ナンバー 25		
クリア	コントローラー・ナンバー 26		

MIDI の流れ

MIDI パラメーターの設定方法は「[EDIT] の基本操作」(P.10) をご覧ください。

主な設定項目

設定する項目	パラメーター	説明	
同期元の選択	SYNC	同期元を DD-500 (INTERNAL) にするか、USB または、MIDI で接続している外部機器にするかを設定します。	
リアルタイム・メッセージの選択	REALTIME SRC	DD-500 が生成したリアルタイム・メッセージを出力するか、MIDI IN 端子または USB 端子から入力したリアルタイム・メッセージを出力するかを設定します。	
MIDI メッセージの出力先	MIDI IN->OUT	MIDI OUT 端子に出力される MIDI メッセージを設定します。	
	USB IN->OUT	USB 端子に出力される MIDI メッセージを設定します。	

DAW とうまく接続できないとき

通常はパソコンにドライバーをインストールする必要はありませんが、何かしらの不具合が発生した場合、もしくはパフォーマンスが悪い場合にうまく接続できないときがあります。

このような場合には、「USB MODE」を「VENDOR」にしたあと、パソコンにオリジナルのドライバーをインストールします。

オリジナルのドライバーのダウンロードとインストール手順について詳しくは、BOSS のホームページをご覧ください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

→ <https://www.boss.info/jp/support/>

ドライバーは、ご使用の環境によってインストールするプログラムや手順が異なりますので、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をよく読んでうえでお使いください。

SYSTEM
BYPASS: BUFFERED
PEDAL ACT: PUSH
FSW HOLD TIME: 2sec
FSW MODE: NORMAL
USB MODE: VENDOR

外部ペダルに機能を割り当てる

CTL 1,2/EXP 端子につないだフットスイッチ（別売:FS-5U、FS-5L、FS-6、FS-7）やエクスプレッション・ペダル（別売：Roland EV-5 など）に機能を割り当てることができます。

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「CONTROL」を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、[TIME/VALUE] つまみで値を変えます。



パラメーター	設定値	説明
PREF	PATCH	パッチごとに異なった設定にできます。
	SYSTEM	すべてのパッチで同じ設定を共有できます。
FUNC	CTL 1,2/EX	端子に接続したフットスイッチの機能を設定します。
MODE	MOMENT	通常はオフ（最小値）になり、押している間だけオン（最大値）になります。
	TOGGLE	押すたびにオフ（最小値）とオン（最大値）が切り替わります。

CTL1 FUNC、CTL2 FUNC の設定値

設定値	説明
OFF	割り当てをしません。ASSIGN 1-8 の設定を使うときに選びます（P.15）。
TAP	タップ入力として使います。
HOLD	押している間、ディレイ音が繰り返されます。
WARP	ディレイ音のフィードバック量と音量を同時にコントロールし、幻想的なディレイを作ることができます。
TWIST	アグレッシブな回転感が得られる新しいディレイです。
MOMENTARY	押している間だけディレイ音を出力します。
ROLL 1/2	押している間だけディレイ・タイムが設定値の 1/2 になり、音が鳴り続けます。
ROLL 1/4	押している間だけディレイ・タイムが設定値の 1/4 になり、音が鳴り続けます。
ROLL 1/8	押している間だけディレイ・タイムが設定値の 1/8 になり、音が鳴り続けます。
FADE IN	ディレイ音をフェード・イン／アウトさせます。
FADE OUT	
EFFECT SW	エフェクトをオン／オフします。
BANK UP	バンクを変えます。
BANK DOWN	
LOOP On/Off	フレーズ・ループ・モードに入ります／抜けます。
LOOP CLR	フレーズを消去します。

EXP FUNC の設定値

設定値	説明
OFF	割り当てをしません。ASSIGN 1-8 の設定を使うときに選びます (P.15)。
TIME	TIME をコントロールします。
FEEDBACK	FEEDBACK をコントロールします。
TONE	TONE をコントロールします。
E. LEVEL	EFFECT LEVEL をコントロールします。
MOD DEPTH	MOD DEPTH をコントロールします。
MOD RATE	MOD RATE をコントロールします。

4. [EXIT] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

工場出荷時の設定に戻す

工場出荷時の設定に戻すことができます。システム設定だけ、または一部のパッチだけ戻すこともできます。

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「FACTORY RESET」を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. 「FROM」と「TO」で、初期化する範囲を決めます。

パラメーター	設定値	説明
FROM	SYSTEM	システム・パラメーターの設定
TO	01A ~ 99C	パッチの設定

```
EDIT
SYSTEM
MIDI
MIDI PC MAP
MIDI BULK DUMP
FACTORY RESET
```

```
FACTORY RESET
[EDIT]:EXECUTE
FROM:
SYSTEM
TO:
99C:Init Patch01-297
```

4. [EDIT] ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
5. 初期化するときは [EDIT] ボタンを押します。
キャンセルするときは [EXIT] ボタンを押します。

```
FACTORY RESET
[EDIT]:EXECUTE
SYSTEM
99C:Init Patch01-297
Are you sure?
```

外部 MIDI 機器にデータを送信する

エクスクルーシブ情報を使って他の DD-500 を同じ設定にしたり、パソコンのシーケンサー・ソフトや DAW ソフトなどにエフェクトの設定内容を保存しておいたりすることができます。データを送信することを「バルク・ダンプ」といいます。

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] ボタンで「MIDI BULK DUMP」を選び、[EDIT] ボタンを押します。
3. 「FROM」と「TO」で、初期化する範囲を決めます。

パラメーター	設定値	説明
FROM	SYSTEM	システム・パラメーターの設定
TO	01A ~ 99C	パッチの設定
	TEMP	現在のパネル上のディレイ設定

```
EDIT
SYSTEM
MIDI
MIDI PC MAP
MIDI BULK DUMP
FACTORY RESET
```

```
MIDI BULK DUMP
[EDIT]:EXECUTE
FROM:
SYSTEM
TO:
TEMP
```

4. [EDIT] ボタンを押します。
バルク・ダンプが実行されます。

トラブルシューティング

トラブル	確認事項	対処
電源が入らない	INPUT A/MONO 端子にギターが正しく接続されていますか？	接続をもう一度確認してください。
	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。
	指定の AC アダプター PSA-100 が正しく接続されていますか？	接続をもう一度確認してください。
音が出ない／ディレイ音が出ない／ダイレクト音が出ない	SYSTEM: OUTPUT (P.17) が正しく設定されていますか？	SYSTEM: OUTPUT (P.17) の設定と OUTPUT 端子の接続をご確認ください。
	OUTPUT 端子には正しく出力装置が接続されていますか？	
フットスイッチで音色が思ったように切り替わらない	SYSTEM: FSW MODE (P.19) が正しく設定されていますか？	FSW MODE (P.19) により [A] [B] [TAP/CTL] スイッチを踏んだときの動作が変わります。設定をご確認ください。
パッチを切り替えたときや、ディレイをオフにしたときディレイ音が残らない	PATCH: CARRYOVER (P.19) は「ON」になっていますか？	CARRYOVER (P.19) が「OFF」のときはディレイ音が残りません。
	SYSTEM: BYPASS (P.17) が「TRUE」になっていませんか？	「TRUE」(True bypass) に設定されていると、CARRYOVER が「ON」でも、エフェクトをオフにしたときにディレイ音を残すことができません。SYSTEM: BYPASS を「BUFFERED」に設定してください。

主な仕様

ボス DD-500 : デジタル・ディレイ

電源	アルカリ電池 (単 3 形) × 4 AC アダプター
消費電流	200mA
外形寸法	170 (幅) × 138 (奥行) × 62 (高さ) mm
質量 (電池を含む)	1.0kg
付属品	取扱説明書、「安全上のご注意」チラシ、アルカリ電池 (単 3 形) × 4、保証書
別売品	AC アダプター: PSA-100 フットスイッチ: FS-5U、FS-5L デュアル・フットスイッチ: FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル: BOSS FV-500H、FV-500L、Roland EV-5

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

安全上のご注意

完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く

電源スイッチを切っても、本機は主電源から完全に遮断されてはいません。完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。



小さな部品はお子様手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。

- ・付属品
- ・ゴム足 (P.2)



使用上のご注意

電池について

- ・電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。

修理について

- ・修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリ部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

その他の注意について

- ・記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- ・失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ・本書では、画面を使用して機能説明をしていますが、工場出荷時の設定（音色名など）と本文中の画面上の設定は一致していないことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- ・エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの（別売：Roland EV-5、BOSS FV-500L、BOSS FV-500H）をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。
- ・抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- ・第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- ・第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- ・MMP (Moore Microprocessor Portfolio) はマイクロプロセッサのアーキテクチャーに関する TPL (Technology Properties Limited) 社の特許ポートフォリオです。当社は、TPL 社よりライセンスを得ています。
- ・本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- ・Roland、BOSS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- ・文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。